

**九州観光マスター検定試験**  
**1 級事例編の受験対応について**

立命館アジア太平洋大学  
名誉教授 小方昌勝

**1. 1 級試験が目指すもの**

- 将来の「**観光コーディネーター**」等の、プロとしての資質とその可能性を探る。  
→ さらに、将来的には観光関係の「**コンサルタント**」へのスタート点
- 観光関係企業等の**企画・開発・経営**部門の中心的人材を探し出す。

**2. 過去の試験を通して分かったこと**

**1) 観光関係業務のプロとなることを志す人材にしては、**

- ① 「**テキストの読み込み**」が十分といえない。
- ② 専門書、新聞・雑誌・専門誌等における「**日常的な情報収集**」が不足している。
- ③ 接した情報に向けた「**問題意識**」や「**問題把握**」への認識が弱い。
- ④ さらに、「**知識・情報等の整理**」、「**多角的分析**」、「**解説・意見・提案の構築**」への対応不足が見られる。

**2) こうした状況下では、**

- ① 「**受験者**」は、知識や情報の力が曖昧なまま、試験に臨み、不得意に感じる問題に出会うことになり、
- ② 思いつくまま、メモ的に（文章になっていない場合が多い）知っていることだけを、解答として羅列することになり、

- ⑤ その結果、「採点者」も回答の趣旨や流れが十分に掴みやすく、採点に統一性を持たせることが難しくなる。

3) そのため、以下の問題を解決することが必要となる。

- ① どのような勉強と準備をしたらよいか分からない。  
② 何を書いたらよいか分からない。  
③ 記述式（論文として）では、どのような展開で書いたらよいか分からない。

3. 記述式論文の基本的流れ（問題によっては、変化・簡素化）

**第1段階**

- 与えられた論文テーマの背景と経緯
  - ① 何故問題提起がなされたのか
  - ② 今までの経緯と現状



**第2段階**

- 関連情報、各種データ、各種ケース・スタディ等の紹介（勉強成果）



**第3段階**

- 第2段階の情報等の解説、課題の抽出、問題点の分析・整理



**第4段階**

- **意見および提案**  
(以上に対する自己の意見と第1段階で提起された問題を解決する自己の提案)

#### 4. 解答に際して留意すべき点

- 1) 以下に関することは正確に記すことが大切である。(減点対象)
  - ① 法令、政策の名称
  - ② 企業等の固有名詞
  - ③ 年代、年号
  - ④ 活動や運動の名称および参考としての地名・国名等
  
- 2) 解答として記述する内容について、とりあえず「重要キーワードやポイント」を、記述の流れに沿って略記(メモ書きでもよい)しておく、「書き忘れ」や「混同記載」、「重複記述」を避けることができ、論文が読みやすくなる。
  
- 3) また、記述内容が複雑で、記述の前後関係の位置づけが迷いやすいようであれば、記述の流れを「重要キーワード」を中心にチャート化しておく、頭が整理され、記述時間も短縮できる。

#### 5. 過去問題等を参考とした解答例(論文問題を主として)

- 1) **第5回問題**(平成19年) → 別添【参考-1】参照  
“九州観光のインバウンド分野の現状と課題の説明”
  
- 2) **第7回問題**(平成20年) → 別添【参考-2】参照  
“観光庁の発足と背景・課題・期待等”
  
- 3) **類似問題**
  - ① テーマ“国土交通省の宿泊旅行統計調査の開始、目的、従来の統計手法との相違点、新統計の活用策等” → 別添【参考-3】参照
  
  - ② テーマ“洞爺湖サミットの寄港地変動・地球温暖化、観光と気候変動・地球温暖化の関係等” → 別添【参考-4】参照

## 6. 過去の出題傾向

- 1) **各章のテキストに記載された内容**（理論、戦略、分析等）に関わる応用問題－意見・提案、数算的計算などを問う。
- 2) **九州観光（国内・インバウンド観光、マーケティング戦略等）の振興**に関する情報整理、分析、意見、提案などを問う。
- 3) 第12章「観光関連知識」に盛られた**各種項目の重要キーワードや重要事項に関連した、行政および業界の新しい施策や動向**について、問題提起、分析、意見、提案などを問う。

## 7. 最近のニュース等で抑えておくべき時事問題

### 1) 重要な動き

- ① **新しい形の観光**（エコツーリズム関連、ニッチ・ツーリズム、ニュー・ツーリズム等々）
- ② **金融危機と観光**
- ③ **新型インフルエンザと観光**

### 2) 本年に入ってから「観光と深い関係がある時事問題」例

1. 米国が、ビザ無し短期滞在（90以内）の入国申請のための「**電子渡航認証システム**」（ESTA）を導入（1月）
2. 「**歴史まちづくり法**」制定 金沢など5市認定 国が整備費補助（1月）
3. 全国の高速道路で土・日・祝日に ETC 搭載普通車に「**通行料金の引き下げ**」地域おこしにプラス（3月）
4. 「**キティ**」の温泉施設 3年で10施設 まず大分（3月）
5. 保存か開発か 揺れる**近代建築**（3月）
6. **訪日外国人が急減** 世界的景気後退と円高が影響（3月）
7. **定額給付金の使途**、外食・旅行が最多（4月）
8. **レジャー復調の兆し**、GW 海外旅行者10%増 サーチャージ下げで JTB 予想（4月）

9. 「観光週間」廃止へ 観光庁方針 今年限り（4月）
10. 中国人観光客の消費旺盛 「銀聯」対応も増加（4月）
11. メキシコ渡航抑制 ツアー中止相次ぐ（4月）
12. 新型インフルで好調一転 海外旅行取りやめ相次ぐ 新規予約も落ち込み（5月）
13. 夏旅行 家族で社会体験 島の清掃や鉄道擬似運転ツアー相次ぐ（5月）
14. 高級ホテルに格安プラン 家族で優雅な一日 外国人客に代わり急増（5月）
15. 修学旅行キャンセル無料 新型インフルで休校条件（5月）
16. ネット旅行各社 格安商品を投入（5月）
17. ドライブ客向け宿泊プラン続々 料金割引で高速利用増（5月）
18. ヒルトン 二泊以上で半額に 6月～8月に内外40ホテルでレジャー客取り込み（5月）
19. 新型インフルつめ跡深く 京都・奈良修学旅行再開へ行脚（6月）
20. 日本観光 好みに差 中国人は自然 韓国人は都会（6月）
21. 進むカラーバリアフリー 高齢者や色弱者 配慮の色使い（6月）
22. 夏のレジャー低調 ボーナス減額 新型インフル 旅行予約二桁減（6月）
23. 新型インフル警戒度「6」に 旅行業は影響注視（6月）
24. 農水省 外国人向けガイド 日本の郷土料理どうぞ（6月）
25. 海外へ共同チャーター便 JTB・近ツーなど旅行大手 地方発の費用安く（6月）
26. 中国人観光客にビザ効果？ 訪日の個人に解禁 対象は富裕層 がん発見ツアー、現地カード対応、観光地アピール 企業や自治体 準備着々（6月）
27. 独「ドレスデン・エルベ渓谷」世界遺産から抹消 架橋で景観破壊（6月）
28. JTB 旅館経営者育成支援 旅館と共同で13億円基金設立（7月）
29. 主要ホテル低迷 大阪は稼働率最低61% 東京も採算割れ（7月）
30. 日航と全日空の明暗 資金調達が映す改革格差（7月）
31. 夏休みの旅行費用一人5万円未満が66% 節約志向が一段と鮮明（7月）
32. 新型インフル感染者10万人 勢い衰えずーWHO（7月）
33. 中国・新疆ウイグル自治区暴動 観光への打撃深刻 ツアー中止相次ぐ（7月）
34. 米航空大手5社 軒並み赤字ー4～6月 景気低迷やインフル（7月）
35. 自治体への財政支援を明記した「海岸漂着物処理推進法」が施行（7月）
36. 高速道料金引き下げ拡大 観光産業 特需に期待（7月）
37. 厚労省分析 新型インフル「渡航歴ありは2割」（7月）

38. 訪日外国人 28%減 1～6月、円高響く（7月）
39. JTB・日本旅行 旅行大手ネット販売強化 写真から予約 商品5割増 比率  
まだ1割、拡大急ぐ（7月）

## **8. これからの受験勉強用資料（テキストの追加情報）**

- **別添資料－1** 観光白書「平成19年度観光の状況」
- **別添資料－2** 観光白書「平成20年度観光の状況」
- **別添資料－3** 観光白書「平成21年度観光施策」（概要）
- **別添資料－4** 九州地域戦略会議「第二次九州観光戦略」
- **別添資料－5** 論文「九州観光の現状と今後の振興策」（小方執筆－2007年）